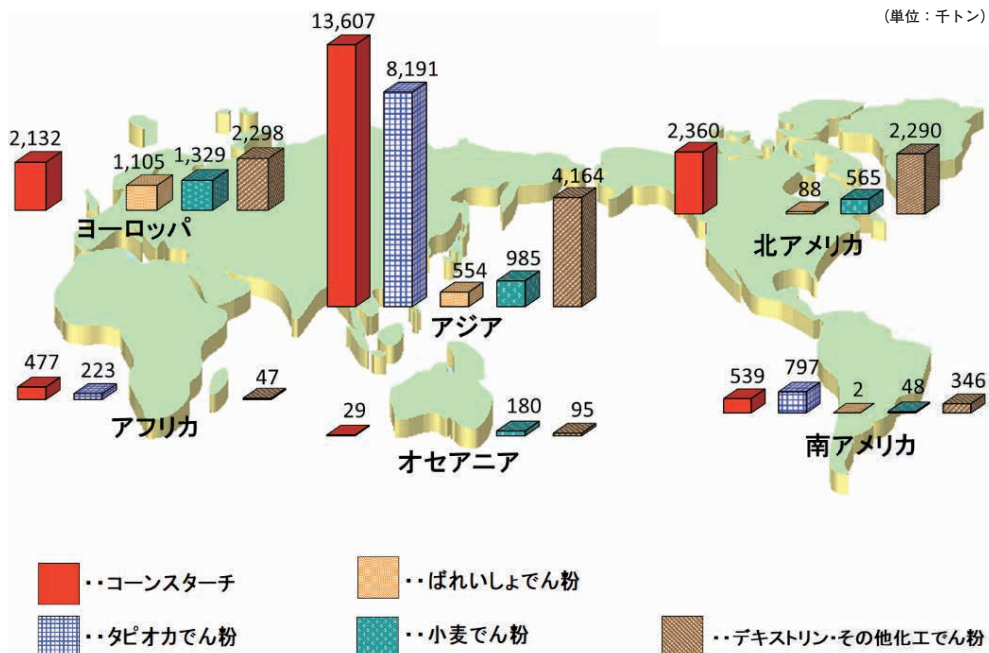


# でん粉の国際需給

調査情報部 水野 崇、荒川 侑子

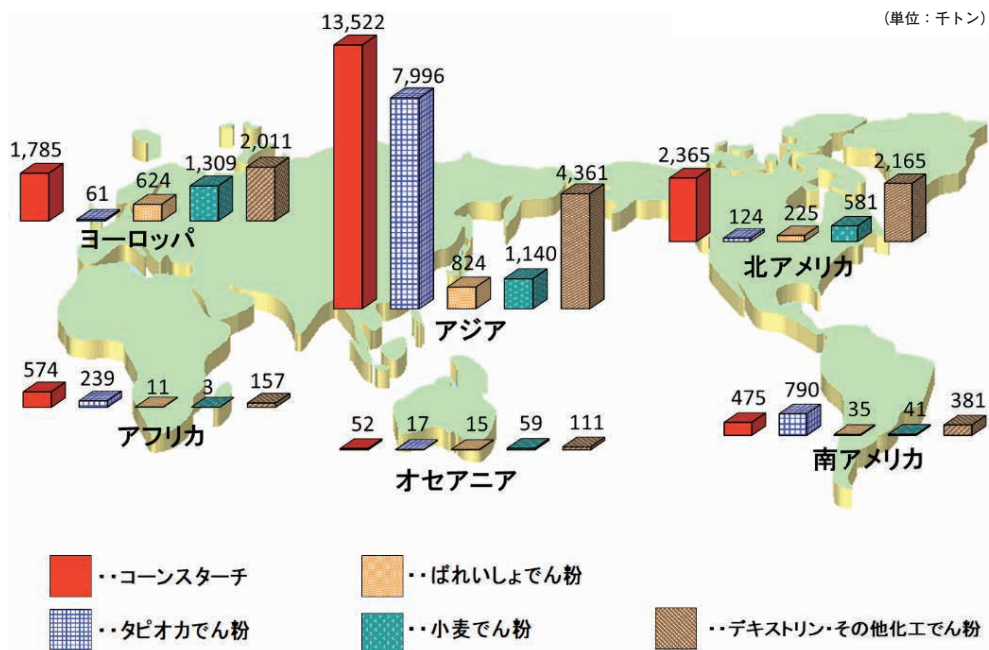
## 1. 世界のでん粉需給

図1 絵で見る世界のでん粉生産量 (2019年)



資料: LMC International® 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成  
 (※農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)  
 注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量 (2019年)



資料: LMC International 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成  
 注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 キャッサバ取引価格

(単位：パーツ/kg)

年・月	タイキャッサバ	
	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2014年	2.10	6.76
2015年	2.16	6.78
2016年	1.52	5.66
2017年	1.40	5.14
2018年	2.38	6.85
2019年	1.89	6.30
2020年7月	1.64	6.39
8	1.73	7.00
9	1.76	7.09
10	1.74	7.13
11	1.85	7.28
12	2.05	7.21
2021年1月	2.03	6.64
2	2.07	6.80
3	2.13	7.06
4	2.08	7.09
5	1.92	7.09
6		7.31

資料：タイ農業協同組合省、タイ商務省

注：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したものの。

## 2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2021年6月末日TTS相場の値であり、1米ドル=112円（111.58円）、1タイバーツ=3.52円、1ユーロ=133円（133.08円）である。

# トウモロコシ・コーンスターチ

## 世界

### 【需給動向：トウモロコシ】

#### 2021/22年度の世界のトウモロコシ生産量、前年度からかなり増加する見込み

米国農務省世界農業観測ボード（USDA/WAOB）および米国農務省海外農業局（USDA/FAS）は2021年7月12日、2021/22年度の世界のトウモロコシ需給予測値を更新した（表2）。

これによると、世界のトウモロコシ生産量は前回から495万トン上方修正され、11億9480万トン（前年度比6.6%増、前月比0.4%増）と予測された。国別に見るとブラジル（前年度比26.9%増）およびウクライナ（同23.8%増）では記録的な生産増が予測され、米国（同6.9%増）、アルゼンチン（同5.2%増）および中国（同2.8%増）でも過去最高水準に近い生産が見込まれている。

輸出量は、世界全体で1億9884万トン（同8.6%

増、同0.7%増）と前回からわずかに上方修正された。国別に見るとブラジル（前年度比53.6%増）とウクライナ（同32.6%増）で大幅な増加が見込まれるものの、米国（同12.3%減）はこれら輸出国との競合により減少が見込まれている。

輸入量は、世界全体で1億8766万トン（同3.0%増、同1.0%減）と前回からわずかに下方修正された。国別に見ると、主要輸入国である中国の輸入量は2600万トンと前年度から変わらないものの、引き続き高水準での推移が見込まれている。

消費量は243万トン上方修正されて、11億8347万トン（同3.2%増、同0.2%増）と前回からわずかに上方修正された。消費大国であるブラジル（前年度比6.6%増）、米国（同1.2%増）および中国（同1.7%増）などで増加が見込まれている。

期末在庫は、2021/22年度の生産量の上方修正などに伴い、前月から0.6%増の2億9118万トン（同4.0%増）と見込まれている。

表2 主要国のトウモロコシの需給見通し (2021年7月12日米国農務省公表)

(単位: 百万トン)

国名	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度		
			(6月予測)	(7月予測)	前年度比 (増減率)
米 国					
期首在庫	56.41	48.76	28.12	27.48	▲ 43.6%
生産量	345.96	360.25	380.76	385.21	6.9%
輸入量	1.06	0.64	0.64	0.64	-
消費量	309.55	309.77	312.82	313.45	1.2%
輸出量	45.13	72.39	62.23	63.50	▲ 12.3%
期末在庫	48.76	27.48	34.47	36.37	32.4%
アルゼンチン					
期首在庫	2.37	3.62	2.12	2.12	▲ 41.4%
生産量	51.00	48.50	51.00	51.00	5.2%
輸入量	0.00	0.01	0.01	0.01	-
消費量	13.50	14.50	14.50	14.50	-
輸出量	36.25	35.50	36.00	36.00	1.4%
期末在庫	3.62	2.12	2.63	2.63	24.1%
ブラジル					
期首在庫	5.31	5.23	5.23	5.23	-
生産量	102.00	93.00	118.00	118.00	26.9%
輸入量	1.65	3.50	1.70	1.70	▲ 51.4%
消費量	68.50	68.50	73.00	73.00	6.6%
輸出量	35.23	28.00	43.00	43.00	53.6%
期末在庫	5.23	5.23	8.93	8.93	70.7%
ウクライナ					
期首在庫	0.89	1.48	0.89	0.89	▲ 39.9%
生産量	35.89	30.30	37.50	37.50	23.8%
輸入量	0.03	0.02	0.02	0.02	-
消費量	6.40	7.90	6.80	6.80	▲ 13.9%
輸出量	28.93	23.00	30.50	30.50	32.6%
期末在庫	1.48	0.89	1.11	1.11	24.7%
中 国					
期首在庫	210.16	200.53	198.18	198.18	▲ 1.2%
生産量	260.78	260.67	268.00	268.00	2.8%
輸入量	7.60	26.00	26.00	26.00	-
消費量	278.00	289.00	294.00	294.00	1.7%
輸出量	0.01	0.02	0.02	0.02	-
期末在庫	200.53	198.18	198.16	198.16	▲ 0.0%
世界計					
期首在庫	322.56	305.46	280.6	279.86	▲ 8.4%
生産量	1,117.56	1,120.65	1,189.85	1,194.80	6.6%
輸入量	167.59	182.16	189.51	187.66	3.0%
消費量	1,134.66	1,146.25	1,181.04	1,183.47	3.2%
輸出量	172.41	183.10	197.47	198.84	8.6%
期末在庫	305.46	279.86	289.41	291.18	4.0%

資料: USDA/WAOB [World Agricultural Supply and Demand Estimates]

注: 各国の穀物年度 世界、米国: 9月~翌8月/ウクライナ、中国: 10月~翌9月/アルゼンチン、ブラジル: 3月~翌2月。

## 米 国

### 【需給、価格動向：トウモロコシ】

#### 2021/22年度の米国トウモロコシ期末在庫率、9%台の見込み

USDA/WAOBは2021年7月12日、2021/22年度（9月～翌8月）の米国の主要農作物需給予測値を更新した。このうち、同国のトウモロコシ需給見通しは次の通りである（表3）。

生産量は作付面積の増加を受けて151億6500万ブッシェル（3億8521万トン<sup>（注）</sup>、前年度比6.9%増）と予測されており、これまでの統計で最も生産量の多かった2016/17年度の151億4800万ブッシェル（3億8477万トン）をわずかに上回る水準となっている。

消費量は飼料など向けの需要がわずかに上方修正され、全体では123億4000万ブッシェル（3億1345万トン、同1.2%増）と予測された。

輸出量は生産量の増加に伴い上方修正されたものの、25億ブッシェル（6350万トン、同12.3%減）と記録的な輸出量となった前年度からかなり大きく減少すると予測された。

期末在庫は、国内消費量が増加するものの、作付面積の増加を受けた生産量の増加が上回ることに伴い、前月から5.5%増の14億3200万ブッシェル（3637万トン、同32.3%増）と予測された。その結果、期末在庫率（総消費量に対する期末在庫量）は前月から0.4ポイント増の9.6%（同2.4ポイント増）となった。

また、生産者平均販売価格はわずかに下方修正され、1ブッシェル当たり5.60米ドル（627円。1キログラム当たり24.7円）と予測された。

（注）1ブッシェルを約25.401キログラムとして農畜産業振興機構が換算。

表3 米国のトウモロコシの需給見通し（2021年7月12日米国農務省公表）

区 分	－単位－	2019/20 年度	2020/21 年度 (推計値)	2021/22年度			
				(6月予測)	(7月予測)	参考（換算値）	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	89.7	90.8	91.1	92.7	37.5(百万ヘクタール)	2.1%
収穫面積	(百万エーカー)	81.3	82.5	83.5	84.5	34.2(百万ヘクタール)	2.4%
単収	(ブッシェル/エーカー)	167.5	172.0	179.5	179.5	11.3(トン/ヘクタール)	4.4%
生産量	(百万ブッシェル)	13,620	14,182	14,990	15,165	385.21(百万トン)	6.9%
輸入量	(百万ブッシェル)	42	25	25	25	0.64(百万トン)	-
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,221	1,919	1,107	1,082	27.48(百万トン)	▲43.6%
総供給量	(百万ブッシェル)	15,883	16,127	16,122	16,272	413.33(百万トン)	0.9%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,186	12,195	12,315	12,340	313.45(百万トン)	1.2%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,898	5,725	5,700	5,725	145.42(百万トン)	-
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,288	6,470	6,615	6,615	168.03(百万トン)	2.2%
うちエタノール向け	(百万ブッシェル)	4,857	5,050	5,200	5,200	132.09(百万トン)	3.0%
輸出量	(百万ブッシェル)	1,777	2,850	2,450	2,500	63.50(百万トン)	▲12.3%
総消費量	(百万ブッシェル)	13,963	15,045	14,765	14,840	376.95(百万トン)	▲1.4%
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,919	1,082	1,357	1,432	36.37(百万トン)	32.3%
期末在庫率	(%)	13.7	7.2	9.2	9.6		2.4ポイント増
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.56	4.40	5.70	5.60	24.7(円/kg)	27.3%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは約0.4047ヘクタール。

## 【貿易動向：トウモロコシ】

### 4月の輸出量は前年同月から大幅に増加するも、前月からかなりの程度減少

2021年4月のトウモロコシ輸出量は、851万4635トン（前年同月比68.2%増、前月比10.2%減）と前年同月から大幅に増加したものの、前月よりかなりの程度減少した。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS<sup>注</sup>）は、1トン当たり264.2米ドル（2万9590円、同51.6%高、同3.5%高）と前年同月からは大幅に、前月からはやや上昇し、過去1年の最安値（2020年8月）と比べ、58.3%の上昇となった。

（注）Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる（FOB価格から横持ち料〈倉庫間の移動費〉、積み込み料、保険料などを差し引いた）価格。

表4 米国のトウモロコシ輸出量（4月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	8,514,635	68.2%	▲10.2%
うち 中国 <sup>注3</sup>	2,551,026	637,756.5倍	46.0%
メキシコ	1,643,946	13.3%	0.2%
日本	1,475,062	27.3%	▲15.6%
韓国	901,408	73.4%	▲12.2%
台湾	391,201	3.2倍	▲30.9%
コロンビア	299,123	▲52.8%	▲58.1%

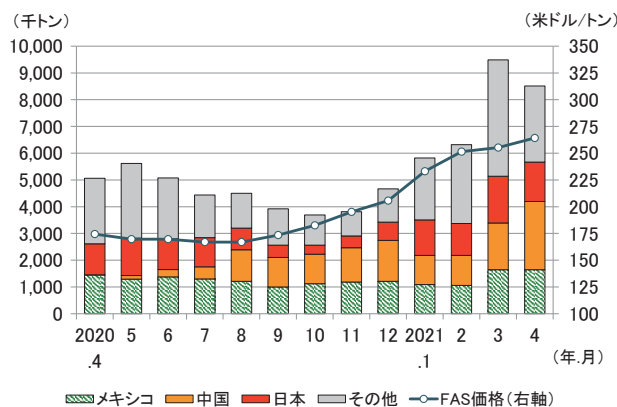
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：2020年は中国でアフリカ豚熱の回復から飼料用トウモロコシの需要が高まっていることなどから、中国の米国産トウモロコシの輸入量が前年と比較して、大幅に増加している状況となっている。

## （参考）米国のトウモロコシの国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

## 【貿易動向：コーンスターチ】

### 4月の輸出量は前年同月からかなり大きく増加するも、前月よりかなり大きく減少

2021年4月のコーンスターチ輸出量は、1万4489トン（前年同月比13.5%増、前月比12.0%減）と前年同月からかなり大きく増加したものの、前月よりかなり大きく減少した。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格（FAS）は、1トン当たり646.6米ドル（7万2419円、同3.3%高、同4.1%高）と前年同月および前月からやや上昇した。

表5 米国のコーンスターチ輸出量（4月）

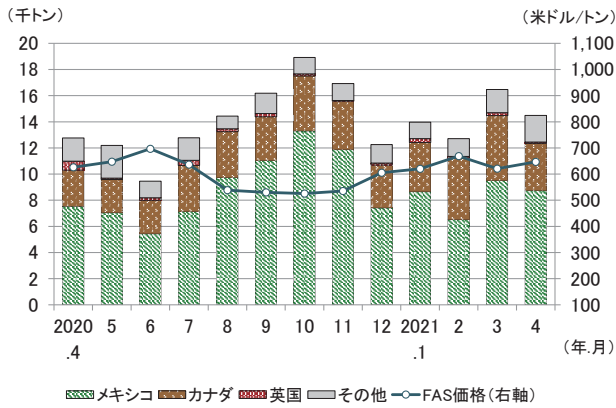
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	14,489	13.5%	▲12.0%
うち メキシコ	8,727	16.2%	▲8.1%
カナダ	3,616	29.8%	▲27.4%
中国	275	7.8%	53.6%
豪州	231	2.2%	▲29.1%
グアテマラ	213	2.2倍	2.2倍
ブラジル	135	3.5倍	▲42.6%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.12

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) 米国のコーンスターチの国別輸出货量および輸出価格の推移



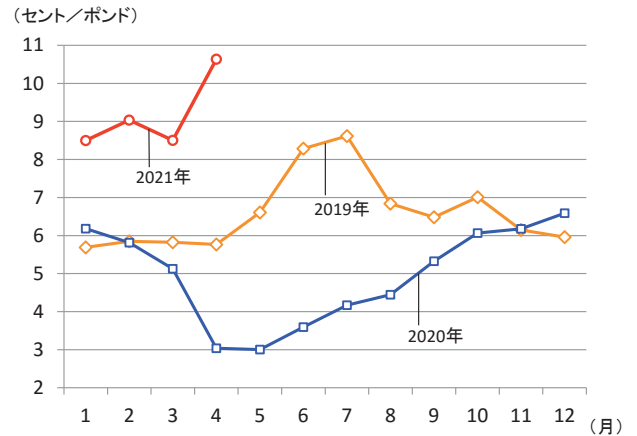
資料：「Global Trade Atlas」  
 注1：HSコード1108.12  
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出货量（累計）上位3カ国を表示。

なお、米国農務省経済調査局（USDA/ERS）によると、同国の代表的市場の一つである中西部市場における2021年4月の製粉業者の純費用は、トウモロコシ価格の上昇などを要因に1ポンド<sup>(注)</sup>当たり10.63セント（11.9円、前年同月比3.5倍、前月

比25.1%高）と前年同月および前月から大幅に上昇した。

(注) 1ポンドは約0.45キログラム。

(参考) 米国中西部市場における製粉業者の純費用の推移



資料：USDA/ERS  
 注：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。  
 なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

## タピオカでん粉

### タイ

#### 【生産動向】

#### 2020/21年度のキャッサバ生産見通し、4カ月変化なし

タイ農業協同組合省農業経済局（OAE）の2021年6月現在の予測によると、2020/21年度（10月～翌9月）のキャッサバの収穫面積は916万ラ

イ（146万ヘクタール<sup>(注)</sup>、前年度比2.7%増、前月同）、単収は1ライ当たり3.29トン（同1.2%増、前月同）、生産量は3011万トン（同3.8%増、前月同）であった（表6）。

(注) 1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

表6 タイのキャッサバの生産見通し

区 分	一単位一	2018/19年度	2019/20年度 (推計値)	2020/21年度		
				(5月予測)	(6月予測)	前年度比 (増減率)
収穫面積	(万ライ)	867	892	916	916	2.7%
単収	(トン/ライ)	3.59	3.25	3.29	3.29	1.2%
生産量	(万トン)	3,108	2,900	3,011	3,011	3.8%

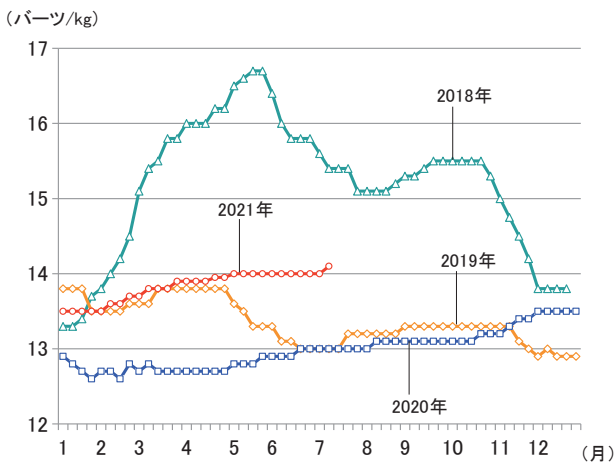
資料：OAE『農業経済2021年6月』  
 注：年度は、10月～翌9月。

## 【価格動向】

### 国内価格、前年同期からかなりの程度上昇

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2021年7月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり14.1パーツ（50円、前年同期比8.5%高、前週比0.7%高）と前年同期からはかなりの程度、前週からはわずかに上昇した（図3）。

図3 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」  
注：当該週の原則火曜日の価格。

## 【貿易動向】

### 5月の輸出量、前年同月からかなり大きく、前月からはわずかに増加

2021年5月のタピオカでん粉輸出量は、23万8933トン（前年同月比11.6%増、前月比0.5%増）と、前年同月からかなり大きく、前月からはわずかに増加した。同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

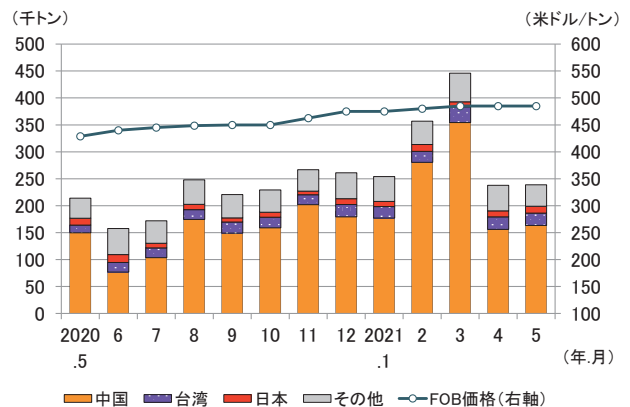
同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり485.0米ドル（5万4320円、同13.1%高、前月同）と、前年同月からかなり大きく上昇した。

表7 タイのタピオカでん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	238,933	11.6%	0.5%
うち 中国	163,342	9.2%	4.8%
台湾	22,959	59.8%	▲1.4%
日本	12,702	▲0.1%	14.6%
フィリピン	7,405	2.1倍	▲5.8%
マレーシア	6,912	37.9%	▲44.7%
インドネシア	6,031	▲25.0%	2.6倍

資料：「Global Trade Atlas」  
注1：HSコード1108.14  
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

### （参考） タイのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」  
注1：HSコード1108.14  
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。  
注3：価格はバンコクのFOB価格。

## ベトナム

### 【生産動向】

#### 主産地のザライ省でキャッサバの作付けが進む

ベトナムの調査会社AgroMonitorによると、同国第1位のキャッサバ作付面積を誇るザライ省では、4月中旬から好天が続き、適度な降雨が少なかったことで定植の適期を逸し、2021/22年度（8月～翌7月）の新期作付けは滞り、一部のキャッサバでは枯死が発生した。しかし、5月中旬に入りまとまった降雨があったことでキャッサバの作付けは進み、同省における計画面積の8割で作付けを終え



た状況となっている。その結果、5月中旬現在、同国のキャッサバ作付面積は26万ヘクタールとなった。

なお、キャッサバモザイク病<sup>(注1)</sup>は5月28日現在、中央直轄5都市および58省のうち、1市19省(前月同)の合計7万1852ヘクタールで感染が確認され、前月(4月30日)から微増した<sup>(注2)</sup>。

(注1) ウイルスの感染によって葉に黄化斑ができる病気で、光合成が十分に行われず、最終的には作物自体が枯れてしまうことから、収穫量が大幅に減少する。ベトナムのほかに、近隣国のタイやカンボジアの一部で流行が確認されている。

(注2) 同国におけるキャッサバの作付面積は、近年、おおむね50万ヘクタール程度で推移している。

## 【貿易動向】

### 5月の輸出量は前年同月からかなりの程度、前月からは大幅に増加

AgroMonitorによると、2021年5月のタピオカでん粉輸出量は、13万9988トン(前年同月比8.0%増、前月比32.5%増)と前年同月からかなりの程度、前月からは大幅に増加した。同国の主要国別輸出量は、表8の通りである。

表8 ベトナムのタピオカでん粉輸出量(5月)

輸出先	輸出量(トン)	前年同月比(増減率)	前月比(増減率)
合計	139,988	8.0%	32.5%
うち 中国	133,710	9.7%	33.4%
台湾	2,913	▲16.0%	80.5%
フィリピン	1,012	2.8倍	53.3倍
パキスタン	476	NA	前月同
米国	236	NA	62.8%
カンボジア	133	NA	3.8倍

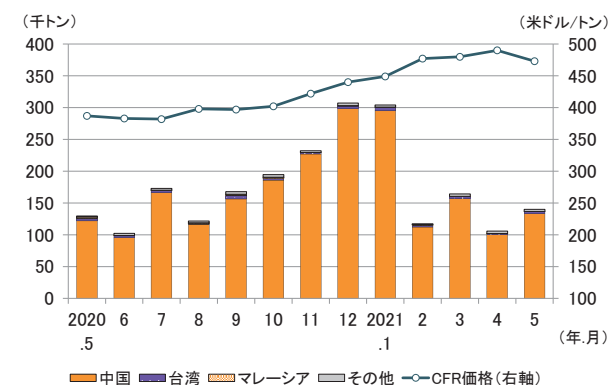
資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「NA」は事実不明なもの。

### (参考) ベトナムのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量(累計)上位3カ国を表示。

注3：輸出価格は、中国向けCFR<sup>®</sup>価格。(※ Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃を売主が負担し、危険負担は物品を引き渡した際に売主から買主に移転される取引条件であり、コンテナ輸送貨物に使われることが多い。)

## ばれいしょでん粉

## E U

## 【貿易動向】

### 4月の輸出量、前年同月からかなりの程度増加するも、前月より大幅に減少

2021年4月のばれいしょでん粉輸出量<sup>(注)</sup>は、3万2057トン(前年同月比10.8%増、前月比16.5%減)と前年同月からかなりの程度増加した

ものの、前月より大幅に減少した。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

また、同月の輸出価格(FOB)は、1トン当たり576ユーロ(7万6608円、同16.1%安、同1.4%安)と前年同月からは大幅に、前月からはわずかに下落した。

(注)EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表9 EUのばれいしょでん粉輸出力 (4月)

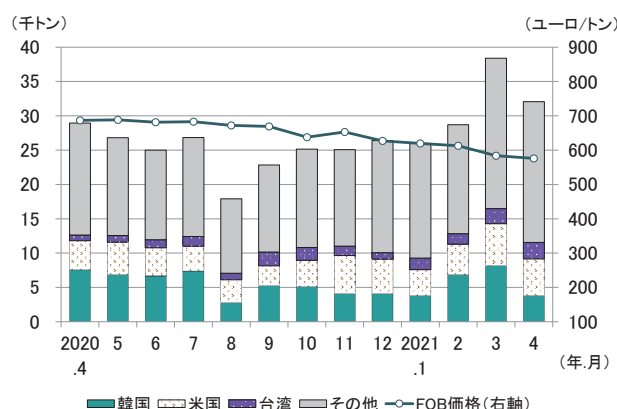
輸出先	輸出力 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	32,057	10.8%	▲16.5%
うち 米国	5,338	25.4%	▲11.9%
韓国	3,799	▲49.7%	▲53.8%
中国	3,318	9.8倍	▲1.4%
台湾	2,413	2.9倍	8.9%
インドネシア	1,690	3.5倍	71.9%
マレーシア	1,610	3.5倍	29.4%

資料: [Global Trade Atlas]

注1: HSコード 1108.13

注2: 国別の数値は、当該月の輸出力上位6カ国を表示。

(参考) EUのばれいしょでん粉の国別輸出力 および輸出力価格の推移



資料: [Global Trade Atlas]

注1: HSコード 1108.13

注2: 国別の数値は、直近13カ月の輸出力 (累計) 上位3カ国を表示。

注3: 輸出力先の不明なものを除く。

## コラム 欧州主要国でのん粉原料用ばれいしょ生産動向 —ドイツおよびオランダ編—

世界最大のばれいしょでん粉生産地域である欧州では、ドイツ、オランダ、デンマークおよびフランスの4カ国が主産国として位置づけられている。本コラムでは、そのうちのドイツおよびオランダでのん粉原料用ばれいしょの生産動向を紹介する (コラム表)。

### 1. ドイツ

ドイツでのん粉原料用ばれいしょの作付面積は2017年以降、増加傾向で推移している。ドイツばれいしょ産業連盟 (UNIKA) によると、これは同国でばれいしょでん粉を製造している3社が原料の確保を目的に、生産者との契約数量を拡大していることが要因とされる。この結果、2020年の作付面積は6万2000ヘクタール (前年比8.8%増)、生産量は255万トン (同6.1%増) とともに前年からかなりの程度増加したものと見込まれている。また、同年はでん粉用途以外のばれいしょについても、作付面積の増加に伴い生産量が増加したことで需要量を上回り、今後、ドイツのばれいしょは余剰分については輸出に仕向けられる他、でん粉産業などでの継続的な使用が見込まれている。この状況を受けてUNIKAは、2021年度でのん粉原料用を含むばれいしょの作付面積を減らすよう農家に呼びかけた。

### 2. オランダ

オランダでのん粉原料用ばれいしょの作付面積を見ると、過去5年は4万トン台半ばで安定して推移している。2018年夏に過去20年で最悪とされる干ばつが発生し、翌年も乾燥した気候により単収と生産量とともに落ち込んだものの、2020年の単収は1ヘクタール当たり40.6トン (前年比7.4%増)、生産量は183万トン (同7.8%増) と回復傾向にあるとみられている。

同国政府は国家たんばく質戦略<sup>(注)</sup>の中で、ばれいしょなどたんばく質を含む農作物の栽培に力を入れていくとしている。これを受けて、同国唯一のばれいしょでん粉製造企業であるAvebe社は「動物性原料の

代替品として、健康的で栄養価が高く、環境に優しい植物由来であるばれいしょ原料の付加価値を高めていく」と述べており、今後の動向が注目される。

(注) 2020年12月22日に発表された同戦略は、今後5～10年間に人の健康に資する持続可能な方法で代替たんぱく質および植物性たんぱく質の自給率を高めることを目的としている。

コラムー表 ドイツおよびオランダのでん粉原料用ばれいしょ作付面積、生産量および単収の推移

(単位：千ha、千トン、トン/ha)

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
ドイツ	作付面積	52	54	57	57	62
	生産量	2,203	2,224	2,360	2,401	2,548
	単収	-	-	-	-	-
オランダ	作付面積	43	44	45	45	45
	生産量	1,900	1,894	1,546	1,699	1,831
	単収	44.0	43.0	34.3	37.8	40.6

資料：UNIKA、オランダ統計局（CBS）

注1：ドイツではでん粉原料用ばれいしょの単収が地域、年、品種などにより大きく異なるため、統計調査は行われていない。

注2：2020年は暫定値。

## 化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国による主要仕向け先国別輸出货量および輸出価格は以下の通りである。

### タイ

#### 【貿易動向】

**5月の輸出货量、前年同月からかなりの程度増加するも、前月よりわずかに減少**

2021年5月の化工でん粉の輸出货量は、9万1905トン（前年同月比10.8%増、前月比1.9%減）と前年同月からかなりの程度増加したものの、前月よりわずかに減少した。同月の主要輸出国別の輸出货量は、表10の通りである。

表10 タイの化工でん粉輸出货量（5月）

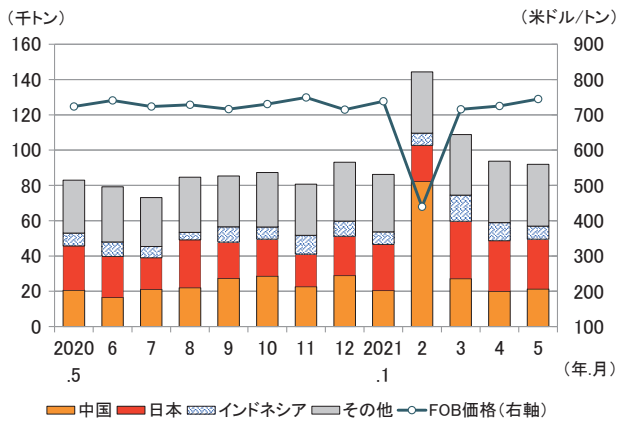
輸出先	輸出货量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	91,905	10.8%	▲1.9%
うち 日本	28,223	12.7%	▲1.5%
中国	21,287	3.1%	6.5%
韓国	8,262	15.7%	7.9%
インドネシア	7,417	2.3%	▲28.0%
インド	5,065	3.1倍	26.5%
ベトナム	2,791	▲4.5%	▲14.0%

資料：「Global Trade Atlas」

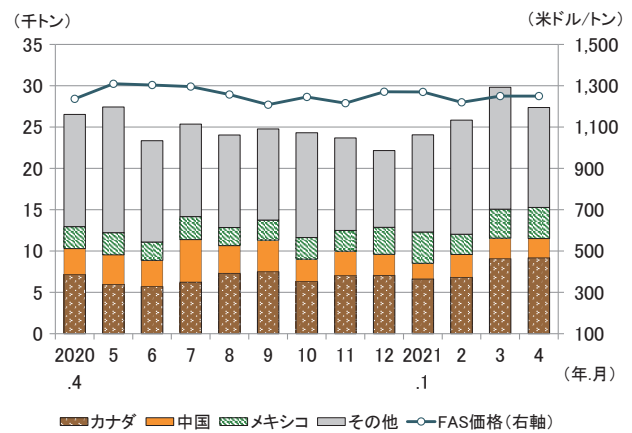
注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出货量上位6カ国を表示。

(参考) タイの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



(参考) 米国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



米 国

【貿易動向】

4月の輸出量、前年同月からやや増加するも、前月よりかなりの程度減少

2021年4月の化工でん粉の輸出量は、2万7369トン（前年同月比3.2%増、前月比8.2%減）と前年同月からやや増加したものの、前月よりかなりの程度減少した。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

表11 米国の化工でん粉輸出量（4月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	27,369	3.2%	▲8.2%
うち カナダ	9,183	28.4%	1.0%
メキシコ	3,759	40.8%	7.1%
中国	2,332	▲25.6%	▲5.3%
韓国	1,206	▲17.7%	31.4%
ドイツ	1,169	▲26.2%	75.0%
日本	1,015	37.9%	▲24.4%

資料: [Global Trade Atlas]  
注1: HSコード3505.10  
注2: 国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

中 国

【貿易動向】

5月の輸出量、前年同月および前月から大幅に増加

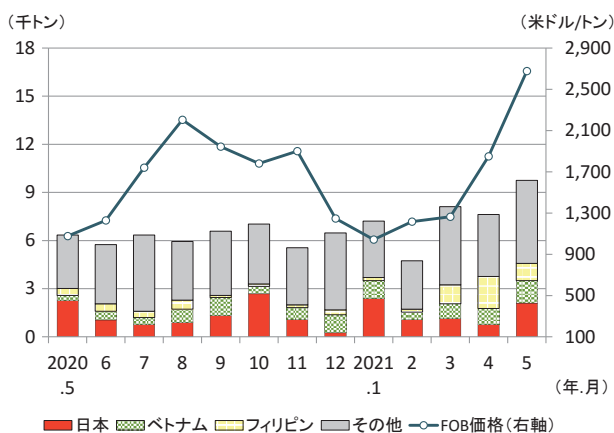
2021年5月の化工でん粉の輸出量は、9751トン（前年同月比53.8%増、前月比27.8%増）と前年同月および前月から大幅に増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表12の通りである。

表12 中国の化工でん粉輸出量（5月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	9,751	53.8%	27.8%
うち 日本	2,104	▲6.6%	2.8倍
ベトナム	1,400	4.3倍	39.2%
フィリピン	1,068	2.4倍	▲46.4%
インド	897	12.3倍	97.6%
台湾	661	27.9%	62.0%
マレーシア	637	3.6倍	3.4倍

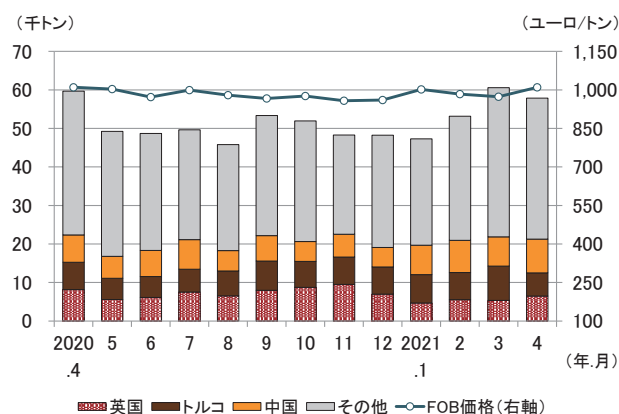
資料: [Global Trade Atlas]  
注1: HSコード3505.10  
注2: 国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) 中国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注1：HSコード3505.10  
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

(参考) EUの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注1：HSコード3505.10  
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。  
注3：輸出先の不明なものを除く。

E U

【貿易動向】

4月の輸出量、前年同月および前月からやや減少

2021年4月の化工でん粉の輸出量<sup>(注)</sup>は、5万7856トン（前年同月比3.0%減、前月比4.5%減）と、前年同月および前月からやや減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表13の通りである。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表13 EUの化工でん粉輸出量（4月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	57,856	▲3.0%	▲4.5%
うち 中国	8,744	24.0%	15.3%
英国	6,488	▲20.8%	20.7%
ロシア	6,483	16.0%	6.0%
トルコ	6,027	▲15.0%	▲32.2%
日本	3,660	▲13.5%	33.3%
韓国	3,635	▲6.2%	19.0%

資料：「Global Trade Atlas」  
注1：HSコード3505.10  
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

豪州

【貿易動向】

4月の輸出量、前年同月および前月から大幅に増加

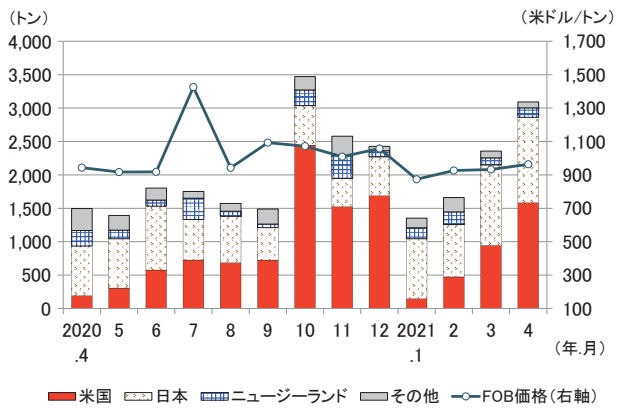
2021年4月の化工でん粉の輸出量は、3091トン（前年同月比2.1倍、前月比31.1%増）と前年同月および前月から大幅に増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表14の通りである。

表14 豪州の化工でん粉輸出量（4月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	3,091	2.1倍	31.1%
うち 米国	1,588	8.3倍	68.9%
日本	1,274	71.2%	5.4%
ニュージーランド	141	▲39.0%	33.0%
南アフリカ	54	-	-
台湾	18	▲73.1%	▲50.0%
インドネシア	16	▲50.0%	前月同

資料：「Global Trade Atlas」  
注1：HSコード3505.10  
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。  
注3：「-」は、輸出実績なし。

(参考) 豪州の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。